

被爆80周年 “Music for Peace”

「明子さんのピアノ」支援コンサート

The 80th Anniversary of the Atomic Bombing

“Akiko’s Piano” Support Concert

マルタ・アルゲリッチ
(広響 平和音楽大使)

©Adriano Heitman

各出演者による

「明子さんのピアノ」演奏や

「明子さんの日記」朗読のほか、

フルコンサート・ピアノ演奏などを

お楽しみいただきます。



角野 隼斗

©Ryuya Amao



酒井 茜

©Andrei Grlic



アニー・デュトワ＝アルゲリッチ



西名 みずほ

2025年10月15日(水) 18:45開演 (17:45開場) 広島文化学園HBGホール

Wednesday, October 15, 2025 Start 18:45 [Open 17:45] Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

ピアノ：マルタ・アルゲリッチ

Piano : Martha Argerich

特別ゲスト：角野隼斗(ピアノ)、酒井茜(ピアノ)

Special Guest : Hayato Sumino , Akane Sakai

朗読：アニー・デュトワ＝アルゲリッチ

Reading : Annie Dutoit-Argerich

司会・朗読：西名みずほ(広島テレビアナウンサー)

本公演の収益の一部を「明子さんのピアノ」の保全や
今後の活動のための支援金として活用させていただきます

■チケット料金(税込・全席指定)／7,700円

■チケット発売日／2025年8月26日(火)

(広響コンサート会員先行販売あり)

■プレイガイド／広響webチケット、広響事務局

(販売初日は広響事務局へのご来訪による) 枚数制限：お一人様4枚まで
(販売はいたしません。)

主催：公益社団法人 広島交響楽協会 共催：一般社団法人 HOPEプロジェクト

広響webチケット



※休憩を含む約90分の内容を予定しています。※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

■お申し込み・お問い合わせ／広響事務局 082-532-3080

■公式ホームページ／ <http://hirokyo.or.jp/>

被爆80周年 “Music for Peace”

「明子さんのピアノ」支援コンサート

The 80th Anniversary of the Atomic Bombing “Akiko’s Piano” Support Concert

ピアノ：マルタ・アルゲリッチ Martha Argerich, piano

アルゼンチンのブエノスアイレス出身。

1957年のブゾーニおよびジュネーヴの国際コンクール、そして1965年のショパン国際コンクールで優勝。以後ヨーロッパ、日本、アメリカにて世界一流のオーケストラや指揮者、音楽祭などに頻りに招かれているほか、室内楽にも取り組んでいる。

1996年、フランス政府より芸術文化勲章オフィシェを受賞、1997年にはローマ・サンタ・チェチーリア協会に任命される。2001年、アルトゥーロ・ベネデッティ・ミケランジェリ国際賞が贈られた。

日本では「高松宮殿下記念世界文化賞」(2005年)および旭日中綬章(2016年)アメリカでは「ケネディ・センター名誉賞」(2016年)、イタリア政府よりコメンダトーレ勲章(2018年)を受章している。2015年広島交響楽団の「平和音楽大使」に就任。「ひろしま・ピース・プライズ(ひろしま音楽平和賞)」を受賞(2015年)、また広島市より「ひろしま文化大使」に任命された(2019年)。

1998年より「別府アルゲリッチ音楽祭」総監督、1999年、「マルタ・アルゲリッチ国際ピアノコンクール」をブエノスアイレスで創設。2002年6月、スイスのルガーノで「マルタ・アルゲリッチ プロジェクト」を開催、2018年よりハンブルグで新しくアルゲリッチ・フェスティバルを始めた。



©Adriano Heitman

角野 隼斗 Hayato Sumino, piano

2018年、ピティナ特級グランプリを受賞。2021年、ショパン国際ピアノコンクールセミファイナリスト。これまでにシカゴ響、ロサンゼルスフィル、バンベルク響、ウィーン放送響、ポーランド国立放送響、ボストン・ポップス、BBCフィル、N響、読響など、国内外のオーケストラと共演。2025/2026シーズンには、フィラデルフィア管、ウィーン響、ベルリン・ドイツ響、オーロラ管への客演が予定されている。2024年、日本武道館で単独公演を開催、同会場におけるピアニストの史上最多動員13,000人を記録。さらに、ロイヤル・アルバート・ホール、ベルリン・フィルハーモニーをはじめ、世界各地での公演を成功させ、国際的な知名度を急速に高めている。2025年11月には、カーネギーホール大ホールでのソロリサイタルデビューが予定されている。その他にも、コンセルトヘボウ、ウィーン・コンツェルトハウス、エルブフィルハーモニー、Kアリーナ横浜での公演も予定している。

"Cateen(かていん)"名義で活動するYouTubeチャンネルは登録者数148万人超、再生回数は2億回を突破。2024年、Sony Classicalと契約を締結し、『Human Universe』をリリース。東京大学総長大賞、レナード・バーンスタイン賞、日本ゴールドディスク大賞「クラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤー」を受賞。また、オーパス・クラシック賞2025を史上初の2部門で受賞。現在、ニューヨーク在住。 <https://hayatosumino.com/>



©Ryuya Amao

酒井 茜 Akane Sakai, piano

桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学を卒業後、ベルギー・ルーヴァン・レムス音楽院修士課程を1等賞で卒業。三浦みどり、パーヴェル・ギリロフ、リリア・ジルベルシュタインに師事。NPO法人イエローエンジェル奨学生、文化庁海外派遣新進芸術家研修生に選出。

ソリストとして、シルヴァン・カンブルラン、アレクサンドル・ヴェデルニコフ、大友直人、ハンブルク交響楽団、シンフォニア・ヴァルソヴィア、東京交響楽団などと共演を重ねる。

ラ・フォル・ジュルネ(ナント、東京)を始め、PMF(札幌)、Chopin and his Europe(ポーランド)など数々の音楽祭から招待されている。室内楽では、マルタ・アルゲリッチ、ギドン・クレーメル、堀米ゆず子、ニコラ・アンゲリッシュらと共演。

録音は「ルガノ音楽祭」のライブCD(ドイツ・グラモフォン、ワーナー)、そしてレコード芸術誌特選盤に選ばれた「ストラヴィンスキー、プロコフィエフ、ラヴェル」(キングインターナショナル)、「VOYAGES」(独Acousence)など多数。

2018年よりドイツ・ハンブルクでの「アルゲリッチ・フェスティバル」においてアーティスティック・プランナーを務める。

2025年6月被爆80周年広島室内楽コンサートをプロデュース。



©Andrey Grlic



©中奥岳生

明子さんのピアノ

このピアノは、1926年アメリカBaldwin社で製造され、同年ロサンゼルスで生まれた河本明子さんが愛しました。1933年(昭和8年)河本一家は広島に移り住み、ピアノも三滝の自宅に置かれました。1945年(昭和20年)8月6日原爆投下。明子さんは学徒動員での作業中に被爆し、翌7日夕方急性放射線障害で19歳の生涯を閉じました。ピアノも爆風により多くのガラス片が刺さり、その後弾かれることもありませんでした。

2005年(平成17年)8月、調律師坂井原浩氏の困難な修復作業を経て、ピアノはかつての音を蘇らせ、8月3日の「被爆60周年記念被爆ピアノ・チャリティーコンサート」で披露されました。以来ピアノは、あの日の出来事を現在に伝える貴重な「被爆遺品」として平和の調べを奏で続けています。

現在、「明子さんのピアノ」は広島市平和記念公園内レストハウス2階に常設展示されています。

「明子さんのピアノ」他の関連動画を右のリンクからご覧いただけます。

- ① ショパンを愛したピアノ
- ② マルタ・アルゲリッチ／ラヴェル：水の戯れ
- ③ 小宮 優／藤倉大：“Akiko’s Diary” for piano
- ④ 酒井 茜／ショパン：ノクターン遺作 他
- ⑤ マルタ・アルゲリッチ×角野隼斗 特別対談(CASIO)



①



②



③



④



⑤